# 平成十九年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校一年　国語　解答及び配点一覧

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に□の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、□に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。
また、大問2は、言語事項をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する言語事項の観点を示しています。



| 大問・領域 | 中問 | 小問 | 連番 | | 配点 | | 大問の計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 話すこと 聞くこと | (1) | | ① | ○ 山下さんのスピーチの内容を聞き取っている。<br>・**学校の掃除**<br>・**バケツの使い方**<br>等 | 3 | ○ 山下さんのスピーチの内容を正確に聞き取っている。<br>・**掃除のときの水の使い方**<br>・**掃除のときバケツに水があふれても水を入れたこと**<br>等 | イ | 5 | 18 |
| | (2) | | ② | | | | | 3 | |
| | (3) | 態意関 | ③ | ○ 大切にしたいと考えているものを自分の体験を基に話そうとしている。 | | | | 3 | |
| | | | ④ | ○ 自分の考えや気持ちを話している。<br>・**みなさん、電気のつけっぱなしはやめましょう。**<br>・**みなさん、環境を良くするためにも、ものは大切に使ってむだづかいをなくしていきましょう。**<br>（「みなさん」という呼びかけの語は入っていなくても可）<br>等 | 5 | ○ 自分の体験を基に具体的なことを入れながら話している。<br>・**先日、理科室で授業が終わったあと、教室に帰ってきたら、教室の電気がつけっぱなしになっていました。だれもいない教室に電気がついているのはとてももったいないと思います。教室の電気はこまめに消すようにしましょう。**<br>（「みなさん」という呼びかけの語は入っていなくても可）<br>等 | | 7 | |
| 2 言語事項 | (1) | ① | ⑤ | | | | しゅくしゃく | 1 | 20 |
| | | ② | ⑥ | | | | おもむき | 1 | |
| | | ③ | ⑦ | | | | きぼ | 1 | |
| | | ④ | ⑧ | | | | うす（める） | 1 | |
| | | ⑤ | ⑨ | | | | となり | 1 | |
| | | ⑥ | ⑩ | | | | 普通 | 2 | |
| | | ⑦ | ⑪ | | | | 乾（く） | 2 | |
| | | ⑧ | ⑫ | | | | 浮（かぶ） | 2 | |
| | | ⑨ | ⑬ | | | | 微妙 | 2 | |
| | | ⑩ | ⑭ | | | | 反響 | 2 | |
| | (2) | | ⑮ | | | | 持/待/特などの漢字のうち一つを書いている。 | 1 | |
| | (3) | | ⑯ | ○ 二つのうちどちらかを書いている。<br>・申し（分）のない<br>・文（句）のつけようがない | 1 | ○ 二つのうちどちらとも書いている。<br>・申し（分）のない<br>・文（句）のつけようがない | | 2 | |
| | (4) | | ⑰ | | | | 何が（ウ）・どうする（キ） | 1 | |
| | (5) | | ⑱ | | | | C | 1 | |

| 大問・領域 | 中問 | 小問 | 連番 | やや満足及び概ね満足できる解答状況 | 配点 | 十分満足できる解答状況 | 配点 | 大問の計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 読むこと（随筆） | (1) | | ⑲ | ○ 文章の展開をとらえて「わたし」の置かれた状況をまとめている。<br>・「わたし」が（**字を書けるよう**）になること。<br>等 | 3 | ○ 文章の展開をとらえて「わたし」の置かれた状況を正確にまとめている。<br>・「わたし」が（**口にくわえたペンで字を書けるよう**）になること。<br>等 | 5 | 20 |
| | (2) | | ⑳ | ○ 「わたし」を心から応援する母の様子を部分的に読み取っている。<br>・おなじように歯をくいしばっていました。<br>・ひたいに汗をにじませていました。 | 3 | ○ 「わたし」を心から応援する母の様子を読み取っている。<br>・**横からのぞきこんでいた母も、わたしとおなじように歯をくいしばってしまい、ひたいに汗をにじませていました。** | 5 | |
| | (3) | 関態意 | ㉑ | ○ 「わたし」になったつもりで、高久君にゆるしてもらえるような気持ちになるまでの心の動きをまとめようとしている。 | 3 | ○ 「わたし」のこれまでの努力やがんばり、字を書くことができた喜びや充実感についてまとめている。<br>・**あれからがんばって、何回も練習して、とうとう自分で書けるようになったんだ。とてもうれしくて、たまらなかったよ。最初はうそだったけど、努力してがんばって書けるようになったんだ。**<br>等 | 7 | |
| | | | ㉒ | ○ 「わたし」のこれまでの努力やがんばりについてまとめている。<br>・**あれからとてもがんばって練習したんだ。周りの人に手伝ってもらいながら、口にペンをくわえて、一生懸命にがんばったんだよ。**<br>等<br>○ 字が書けるようになった「わたし」のうれしさについてまとめている。<br>・**とうとう書けるようになったんだ。とてもうれしかったよ。**<br>・**初めは書けなかったけど、練習して「ア」が書けるようになったよ。目の前がパーッと明るくなったんだ。**<br>等 | 3<br>4 | | | |
| 4 読むこと（説明文） | (1) | | ㉓ | ○ 熊本城に関係する語句を書いている。<br>・**加藤清正**<br>・**武者返し**<br>等 | 3 | ○ 文章中の言葉を使って、「熊本城」につながるように短い文を書いている。<br>・**熊本の代表的な建築物である**熊本城<br>・**「武者返し」と呼ばれる石垣をもつ**熊本城<br>等 | 5 | 20 |
| | (2) | | ㉔ | ○ 熊本城を復元したいという思いをまとめている。<br>・**熊本城を復元したいという思い**<br>等 | 3 | ○ 昔のままに復元しようとする人々の思いにふれてまとめている。<br>・**できるだけ当時に近い姿に復元したいという思い**<br>・**可能な限り当時の姿に近づけたいという思い**<br>等 | 5 | |
| | (3) | 関態意 | ㉕ | ○ 文章に表れている職人の思いをまとめようとしている。 | 3 | ○ 職人たちの思いをとらえ、自分の思いを入れながらまとめている。<br>・**昔の姿に近づけるように熊本城を復元しようとされている努力は、職人の方々が、仕事とふるさとに対する熱い思いと誇りを持っていらっしゃるからだ。私も将来は、ふるさとへの思いを胸に誇りを持てるような仕事をしていきたいと思う。**<br>等 | 7 | |
| | | | ㉖ | ○ 職人たちの思いをとらえてまとめている。<br>・**職人たちは自分の仕事に誇りを持っていると思う。**<br>・**ふるさと「熊本」のことが好きだと思う。**<br>等<br>○ 自分の思いをまとめている。<br>・**私も将来は、誇りを持てる仕事をしたい。**<br>等 | 4<br>3 | | | |

| 大問・領域 | 中問 | 小問 | 連番 | やや満足及び概ね満足できる解答状況 | 配点 | 十分満足できる解答状況 | 配点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 書くこと | (1) | | ㉗ | | | ○ グラフから必要な情報を集め、グラフの見出しを書いている。<br>**・毎日が楽しい** | 3 |
| | (2) | ① | ㉘ | ○ A・B・C のグラフの中から使いたいグラフを一つ以上選んでいる。 | 2 | | |
| | | ② | ㉙ | ○ 意見文に題名をつけている。<br>**・朝食について**<br>**・朝食の大切さについて**<br>等 | 2 | ○ 意見文の内容にふさわしい題名を工夫しながらつけている。<br>**・朝食をとって楽しく過ごそう**<br>**・朝食の意外な効果について**<br>**・あなたは朝食をとっていますか**<br>等 | 4 |
| | | ③ | | | | | |
| | | 関意態 | ㉚ | ○ 自分が思ったことや考えたことを書こうとしている。 | 2 | ○ 一五〇字程度で、自分が思ったことや考えたことを書こうとしている。 | 3 |
| | | | ㉛ | ○ 選んだグラフからわかったことを入れながら書いている。<br>**・（Aのグラフから）朝食を食べると、毎日が楽しく感じられることが増えてくる。**<br>**・（Bのグラフから）朝、早起きして朝食をゆっくり食べると、おいしく食べることができるということがわかる。**<br>**・（Cのグラフから）バランスのよい朝食は、「おいしい」と感じることができるそうだ。**<br>等<br>○ 自分のこれまでの経験を入れながら書いている。<br>**・私は寝ぼうして朝食を食べずに登校したとき、具合が悪くなって保健室に行ったことがある。**<br>**・いつもぎりぎりまで寝ているので、あわて朝食を食べている。たまには飲み物だけのこともあり、そんなときは早くおなかがすいて、給食までがまんするのがつらくなったりする。**<br>等 | 3 | ○ 選んだグラフからわかったことと、自分のこれまでの経験を交えて書いている。<br>**・朝ゆっくりした気分で朝食をとると、「おいしい」と感じることができるという調査結果がある。私も早起きした朝は、ご飯もおかずもたくさん食べることができる。しっかり食べて頭や体もすっきりして「さあ、今日もがんばるぞ。」という気持ちになる。**<br>**・朝食を食べずに学校へ行ったときには、おなかがすいて元気が出ないし、頭もぼんやりしている感じがする。寝ぼうしたときに何回かそういうことがあった。調査結果にも、「毎日が楽しい」と思う子どもに朝食を食べている子が多いとあった。**<br>等 | 6 |
| | | 言 | ㉜ | | | ○ 朝食の大切さについて、主張することができている。<br>**・だから、私は朝食を食べることはとても大切なことだと思う。ぜひ、みなさんもしっかり食べましょう。**<br>等 | 2 |
| | | | ㉝ | ○ 文の主述、文と文のつなぎ、文末の表現等、正しい記述ができている。<br>○ 誤字、脱字がなく正しい表記で書いている。 | 1 | ○ 文の主述、文と文のつなぎ、文末の表現等、正しい記述ができており、誤字、脱字がなく正しい表記で書いている。 | 2 |
| | | | | | | 大問の計 | 22 |